

CURIOUS MINDS

発行：せんだい若者サポートステーション

〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12

TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691

Mail: info@saposute.ne.jp

平成20年11月 第14号

*せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。「社会へ一歩踏み出す」「働く」など、“これから”を一緒に考えていきましょう。

～ “curious minds” の願い ～

“curious”とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）を大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この広報紙を“curious minds”（キュリアス・マインズ）と名付けました。

せんだいサポステの活動のご報告、そして今後のイベントのご案内等を、コンパクトにまとめてお伝えします。

せんだいサポステinformation



しごと見学

～有限会社アゾット～（オリジナルTシャツ製造）
(<http://www.azoth-net.jp>)

さる10月29日（水）、サポステメンバー5名は、有限会社アゾットさんへお邪魔し、オリジナルTシャツの製造工程の様子を見学させていただきました。

大型機械を用いてデザインをプリントする工程や、手作業での細かな調整など、参加者はとても興味深げに見入っていました。

さらに、従業員のおひとりが、かつてサポステメンバーと同じような思いを抱えていたとのことで、現在に至るまでの体験談をお話し下さいました。

参加者からは「お客様の気持ちを第一に考えている点に感銘を受けた」「ハイテク機械が多いことに驚いた」「従業員の方の体験談がとても励みになった」などの感想が寄せられました。

12月に就労支援フォーラム開催!

「働くてこわい、でもあきらめたくない・・・」

“くもりのち晴れ”のボクらの就活日記

日時：12月14日（日）13:30～16:00（開場 13:00）

会場：ネットU仙台市情報・産業プラザ

AER(アエル)6階 セミナールーム2

【入場無料・予約不要】

せんだい若者サポートステーションでは、7月に引き続き、NPO法人わたげの会との合同でフォーラムを、12月14日（日）に開催します。今回は、より就労（＝出口）に特化したテーマでお送りします。

内容の特徴は、若者自身による体験談のトークライブです。ここでは、せんだいサポステを“卒業”し、今働いている若者や、働こうとしている若者が、これまでの思いや現在、未来について、自分の言葉でお伝えします。

「働きたいけど、なかなか動けない」という方やそのご家族など、是非ともご参加ください。なお、詳細に関しては、せんだいサポステまでお問い合わせください。

（電話 022-246-9685 平日10:00～17:00）

出前相談会のお知らせ



～12月・H21年1月の予定～



終日（10:00～16:00）、個別相談会を行います。電話でご予約の上、おいで下さい。
（仕事の紹介・斡旋ではありません）

◎12月9日（火） 大河原合同庁舎

（柴田郡大河原町字南129番1号 TEL 0224-53-3111）

◎12月15日（月） 仙台保健福祉事務所岩沼支所（塩釜保健所岩沼支所）

（岩沼市中央3丁目1-18 TEL 0223-22-2188）

◎1月13日（火） 仙台保健福祉事務所塩釜総合支所（塩釜保健所）

（塩釜市北浜4丁目8-15 TEL 022-363-5502）

◎1月20日（火） 仙台保健福祉事務所黒川支所（塩釜保健所黒川支所）

（黒川郡富谷町ひより台2丁目42-2 TEL 022-358-1111）

詳細は、せんだいサポステ（022-246-9685）までご連絡を頂るか、ホームページ(<http://www.saposute.ne.jp>)をご覧ください

＜対象となる方＞

- ・「仕事をしなきゃとは思っているのだけれども、何から始めていいかわからない」というご本人
- ・「本人の力になりたいが、どう接すればよいのか・・・」とお考えのご家族の方など

是非足をお運びください

道は必ずあると思います。この出前相談会がそのきっかけになれば、幸いです。

バックナンバーは
ホームページで

“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできます。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

せんだい若者サポートステーションURLは、<http://www.saposute.ne.jp>

*お話を伺った方・・・ふれあい福祉作業所施設長 高橋敏夫（たかはしとしお）さん

◇季節の移ろいは早いもので、北の国からは冬の便りが届く頃となりました。心も温かさが恋しくなる時期ではないでしょうか。
◇今回は、障害を持っている人も地域で普通に暮らせる生活の実現を目指す、ふれあい福祉作業所にお邪魔しました。

きょうちゃん(以下:き) こんにちは。よろしくお願ひします。早速ですが、高橋さんのお仕事の内容を教えてください。

高橋氏(以下:高) 「こんにちは。よろしくお願ひします。この施設は仙台市の助成金事業の福祉施設で、障害者の自立・就労などを支援しています。私は、**作業所の運営や管理全般のまとめ役**です。“学校の先生”と“総務・営業”を兼ねてるような感じというところでしょうか」



<高橋敏夫氏>

き: 高橋さんがこのお仕事に就くきっかけとなった出来事がありますか？

高: 「きっかけは、両親ですね。すでに亡くなっているんですけども、晩年にパーキンソン病や認知症を患ったんです。その時に、施設やボランティアの方に大変お世話になりました。その感謝の気持ちから、社会人としての会社勤めが終わったら社会貢献がしたいと考えていました。」それに、先輩からのお誘いもありました。

き: お仕事をされていて、感じることはどんなことでしょうか？

高: 「入所者はストレートでピュアなんですよね。障害があるということは誰にでも起こり得ることで、決して特殊ではないんですよ。自立・就労の為に、「どげんかせんといかん」という使命感を感じます。少しでも社会貢献ができることを、嬉しく思いますね」

き: どのような人に向いている仕事だと思いますか？

高: 「**忍耐強い人・前向きに明るい気持ちで毎日仕事ができる人。**知的障害を持っている方には、話や行動をするのに時間がかかる方もいます。そのような方の話をゆっくり聞いてあげられる人、行動をゆっくり観てあげられる人が向いていると思います」



き: これからの夢・目標をお聞かせください。

高: 「**1人でも多くの自立者・就労者を出して行くことが目標**ですね。また、卒業生が気軽に遊びに来て、地域の方とお茶を飲む“サロン”のようにしたいですね。」

☆ふれあい福祉作業所では、ヤーコンを始め、様々な野菜の栽培も行っています(パソコンルームもあり、パンも焼いています)

き: これから仕事に就こうとしている若者へ、メッセージをお願いします。

高: 「どんな仕事でも、そんなに甘いものではないということを自覚して欲しいです。ですが、「**ネアカのびのびへこたれず**」。言いたいことを言って、仕事を愉快に面白がって頑張ってください。“おだづもっこ”の精神です(笑)」



☆作業所全体の活動の様子も説明していただきました

ふれあい福祉作業所は、のどかな自然の中にたたずんでいます。田んぼや畑、青い空、澄んだ空気…。心も体ものびのびです。

ヤーコン茶を計量する作業場は、日本の古き良き懐かしさを感じさせる建物。思わず「ただいま〜っ」と言ってしまうような雰囲気。作業中みなさんも「こんにちは！」と明るく挨拶してくださり、笑顔がこぼれました。ふれあい作業所のヤーコン茶は、口コミで宮城県外にも広がるほどの人気。クセがなくあっさりして、おいしかったです。

高橋さんは冗談を交えながら、終始気さくな話しぶりで応じて下さいました。そのお陰で、私は良い意味で緊張せず話を伺いできました。**笑う角には福来たる**。私も笑顔を心掛けたいと思います。

お仕事での貴重なお時間を割いてインタビューに応じて下さった高橋敏夫さん、本当にありがとうございました。

(BY きょうちゃん)



せんだいサポステDATA ~登録者の属性や利用状況について~

	平成19年度	平成20年度	合計	%
登録者数	124	63	187	100.0%
男性	97	48	145	77.5%
女性	27	15	42	22.5%
相談件数	730	852	1582	
1人外参加者数	770	730	1500	
進路決定者数	25	30	55	100.0%
正規雇用	6	6	12	21.8%
非正規雇用	16	19	35	63.6%
職業訓練	2	5	7	12.7%
進学	1	0	1	1.8%

*4月1日~11月14日

<登録者の年齢>

